

特定非営利活動法人  
**岐阜環境カウンセラー協議会**  
**会報 Vol. 20**  
2017年7月26日発行



この美しい自然を守ることが、**人類を救う！！**

### 目次・概要

- 「地球温暖化防止対策は、脇目を振らず粛々と進めねばならない!!」

岐阜環境カウンセラー協議会 理事長 堀江 孝男

今回の“パリ協定離脱”の決定は、残念ながら America First ではなく、実際には America Alone(孤立主義)という結果を招きそうだ。

- 株式会社 マルダイ様、当協議会にご寄付

エコアクション 21 地域事務局ぎふ 事務局長 小倉 竹治郎

大野町において木くずの破碎及び産廃収集運搬をされ、優良産廃処理業者に認定されている株式会社マルダイ様からご寄付をいただきました

- 「第 18 回 環境市民フェスティバル(大垣市)出展」報告

岐阜環境カウンセラー協議会 理事 鈴木 敬彦

人力で発電し、風船のお尻に取り付けられた小型ファンを回して空気を送り、膨らませると招き猫が「エネルギーを大切にしよう！」を手にして立ち上がります。

- 「大垣環境フェスティバルで使用したグッズに関するお話」

エコアクション 21 審査人 則竹昌幸

10年くらい前に「創作機械工房 Piccolo SPA」から購入した人力発電グッズ、それまで見たこともなかった“くだらないけど、思わず笑ってしまう”品々がホームページに載っていて、かつての私は、なぜか強く感銘を受け、今の路線に入り込んだのでした。

- 新規入会会員の紹介

# 「地球温暖化防止対策は、脇目を振らず粛々と進めねばならない!!」

岐阜環境カウンセー協議会 理事長 堀江 孝男

アメリカ人は「セレンディピティー(serendipity)」という言葉が好きらしく、街の通りの名前や、レストラン・喫茶店の名前によく使われるという。

「セレンディピティー」は、“思いがけなく良いことに会うこと”とか、“科学分野での失敗が思わぬ大発見に繋がった時”などに用いられると云われ、昨今、読書家間においても「セレンディピティー」の効用が言われだし、流行語になりつつある様だが、確かに乱読を続けていると「これは凄い、と感じさせる良書」に巡り合うことがあり、なんとも嬉しくなるものである。

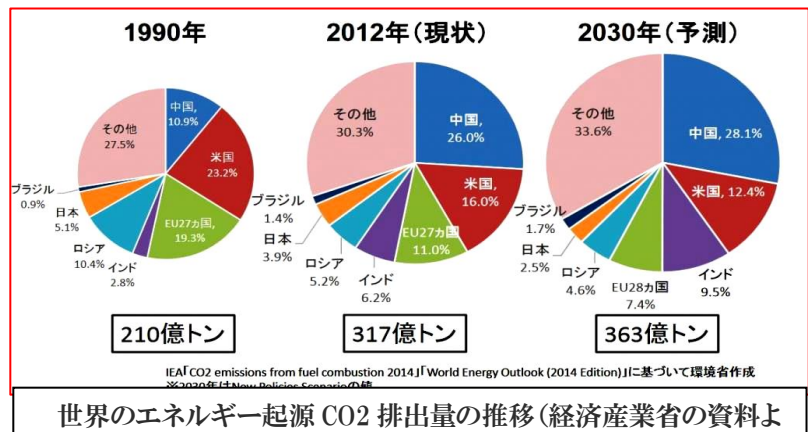
逆に、「思いもしない、困ったことが起きること、、、」を、欧米人は何て云うのだろうか？

この頃、環境保全対策に関わる者にとり、極めて憂鬱な話題が続いている。今年 6 月 1 日、あの「**アメリカ大統領は、“パリ協定離脱”を表明した**」のである。正確に云うと、「それは唐突でも、思いもしなかったことでもなく」、その予兆は既にあった。昨年(2016 年)11 月 7 日から始まった、モロッコ・マラケシュでの COP22 開催中に、参加者全員に驚きと共に伝わったと云われる「予兆」があった。

それは、現地時間 11 月 9 日朝に「**次期アメリカ大統領にトランプ氏が選出された**」との一報であり、一瞬、交渉の場に暗雲が立ち込めたと、当時の参加者が後日報告会で述べている。トランプ氏は、選挙戦を通じてパリ協定からの脱退を明言してきており、「**米国主導で合意に漕ぎつけたパリ協定は、これで終わった**」と、述べていたのである。

私は、選挙中のトランプ氏は、「世界のグローバル化の流れは、歴史的必然と云われているが、地域・個人の格差拡大に繋がり、これを止めねばならない!!」との主張に、ラストベルト(錆びついた工業地帯)の選挙民向けの言葉とは思ったが、「なかなか面白いことを云う人だ」と思っ、或る意味期待をしていたのであるが、今年5月26～27日に開催された、主要国首脳会議(イタリア タオルミナ・サミット)、日米欧主要七カ国(G7)でのアメリカ大統領トランプ氏の発言は「どうもおかしい、、、」と感じつつも、「**偶さか、それほど愚かしいことを本当に言い出すとは、、、**」と思いつつ、驚きと共に大きく落胆したのである。

今年の 6 月 1 日、この**アメリカ大統領は「パリ協定離脱」**を表明し、思いもしなかった方向に舵を切ったのである。トランプ氏は、「パリ協定は、米国の利益を損なう合意だ」と主張し、オバマ前政権が設定した「2025年に排出量を05年比最大28%削減する」との目標を破棄し、途上国の温暖化対策を支援する基金への資金拠出も即刻停止すると宣言した。更に、中国などの削減目標が低いと強調、「米国の産業、勤労者、納税者に対する公平さ」を条件に、協定の再交渉や新たな枠組みの協議を要求したのである。米国の離脱表明により、事実上の非参加国は米国、シリア、ニカラグアの3カ国になった。



今年 6 月 1 日の、**トランプ大統領による「離脱発表後」**を、新聞・テレビはこの発表を喧しく伝えたが、この報を耳にした時、私は 16 年前(2001年3月)の、京都議定書から米国が離脱した時と酷似していると思った。京都議定書は発効まで 8 年間に要したが、その努力をも無視し、2001 年 3 月、ブッシュ(Jr)大統領は、京都議定書からのまさかの離脱を表明したのである。京都議定書は、パリ協定と同じように地球温暖化対策としての国際的



な取り決めであり、温室効果ガスの削減を各国に求めた点も同じだった。彼は、2001年3月29日のプレス発表において、「わが国の経済にとって害となる行動は取るつもりはありません」と断言をして、京都議定書に反対の意を表明しているのである。

ブッシュ大統領が言及した、米国経済に与える影響とは、京都議定書に記されている削減条件に沿うと、アメリカのGDPは2010年には1000億から4000億ドルほど低下し、エネルギー税によってガソリンの価格は30～50%（約50円/ガロン）、電気料金は50～80%高騰するだろうと予測している。

その時のいわゆる国際的な反発は、今ほどの激しさではなかったと記憶するが、何れにせよ今回のトランプ表明と酷似しており、「地球の終わりを早める最悪の措置を、アメリカの保守政権が断行した!!」という糾弾は同じであった。

当時のブッシュ(Jr)政権は、京都議定書からの離脱理由として、「温室効果ガスの役割は完全に証明されていない」、「その削減はアメリカ経済の成長を阻害する」、「開発途上国の削減が決められておらず、不公平」とも挙げていたが、これも酷似している。1993年から2001年までのクリントン政権時の、「アル・ゴア副大統領」は、環境問題をライフワークにしており、極めて積極的に「地球環境問題に取り組んでおり、当時は「ゴア氏が大統領になっておれば、こんな馬鹿なことにはならなかったに、、、」と思ったものである。

ゴア氏は、1970年代から地球温暖化問題について世界的な啓発活動を行っており、この講演の様様をドキュメンタリー化した『不都合な真実』は衝撃をもって受け止められた。当然の如く私も、その書籍と同名の映画も観て、「未だこの国は大丈夫だ」と思った。そして、2007年10月に環境啓蒙活動が評価され、IPCCと共にノーベル平和賞受賞を受けたのであるが、これらの経緯を俯瞰すると、米国の場合の多くは、その政権が「保守派の共和党」と「リベラルな民主党」の交代時には、前政権の方針を大幅に覆す大変換をするようだ。

そしてトランプ大統領は、あの悪名高きブッシュ(Jr)大統領と同様に「パリ協定を容認すると、2025年までに最大270万人の職が奪われると云い、製紙・セメント・鉄鋼業会の生産量が12～38%ほど削減し、加えて石炭業界では36%の減少、その時の損益計算を示し環境保全対策より経済性を優先させているのである」と述べている。「環境保護の分野で最も進んでいる米国を罰するような枠組みは支持できない」とか、「米国は環境にやさしい国で、クリーンな空気・水を維持する環境を維持している、、、」など、よくここまでいい加減なことを話すな、と思われることを述べているのである。

彼は米国の現在の地球環境変化に対し「極めて良い、、、」と思い込んでいる様である。彼は元ビジネスマンあり「地球環境

保全に興味はなかった、、、」としても、写真-2に示す米国内・ロサンゼルスのスモックの悲惨さは、あの中国北京のスモックと同様であると云われ、多くの国民は知っている筈であり、全世界のCO2の排出量の1/2を中国とアメリカが出していることに責任を感じていないのかと思ひ、その多くの原因の一つに、車の排気ガスや工場から排出される二酸化炭素が主因であることくらいは理解している筈であり、それを「**米国の環境は良い**」の発言は、



写真-1 ノーベル平和賞受賞式で講演するゴア元・副大統領

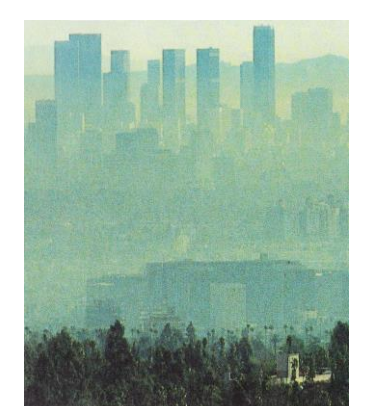


写真-2 ロサンゼルスのスモック



写真-3 トランプ大統領がパリ協定から脱退すると発表した後、ホテル正面に緑色のライトが投射された=パリ2017年6月

無知と欺瞞のサンドイッチではないかと思うのであり、加えて、米国内では地球温暖化が原因と思われる「大型ハリケーン」や、山火事が頻発しており、科学者の多くはこの傾向は年々強くなると警鐘を鳴らし続け、又、「人口約 10 万人のミシガン州フリント(Flint)では、経費節約に端を発する水源の切り替えで、現在供給されている水道水が鉛に汚染されていることも明らかになっている。

今回の“**パリ協定離脱**”の決定は、残念ながら America First ではなく、実際には America Alone(孤立主義)という結果を招きそうだ。

冷たく突き放すなら、政治的には、America First でも America Alone(孤立主義)でも勝手な道を選べばよい、それによって、あの国が地球温暖化による酷い被害を受けようと、それは自業自得だから仕方ない事としても、よく考えねばならないのは、地球温暖化問題は地球全体のボーダレスな問題であり、America First と云う一国の我儘はに許せないと思うのである。


当然の如く、この「パリ協定離脱表明」の一報は世界中を掛け巡り、多くの批判を浴びているが、漸く、米国内でも「トランプよ、恥を知れ!!」とか、「こんな人を大統領に選んでしまい、世界の人に申し訳ない」などと、抗議する米国民のニュースを目にし、未だこの国の良心は残されていると安堵するのである。

加えて6月中旬の13日には、「G7 環境相会議」において「米国抜きでパリ協定を推進する」を再確認したようである。

今回の米国大統領による「パリ協定離脱宣言」は、地球温暖化防止活動史に永く汚点として語り継がれるであろうが、あの国の現政権が長く続かないことを願いつつも、翻って「我が協議会は市民部門&事業所部門が一体となって、目前の色々な困難を確実に除去しながら、脇目を振らず粛々と地球環境保全活動に取り組みねばと、改めて強く思うのであります。

加えて、頑張り続けければ「セレンディピティー現象が必ず起きる!!(思いがけなく良いことが起きる)」のではないかと、と思いつつ。

11日 イタリア・ボローニャで開かれたG7環境相会議のロイター



## G7 環境相会合

120613

【ボローニャ（イタリア北部）＝原亮彦】主要7カ国（G7）環境相会議は12日、米国を除く6カ国が地球温暖化防止策の国際的な枠組み「パリ協定」の履行を推進すると盛り込んだ共同声明を採択し、閉幕した。米国については注意書きで、二酸化炭素（CO2）の排出削減に取り組むと記したと強調。批准してい

「ボローニャ（イタリア北部）＝原亮彦】主要7カ国（G7）環境相会議は12日、米国を除く6カ国が地球温暖化防止策の国際的な枠組み「パリ協定」の履行を推進すると盛り込んだ共同声明を採択し、閉幕した。米国については注意書きで、二酸化炭素（CO2）の排出削減に取り組むと記したと強調。批准してい

共同声明 日欧加と溝埋まらず

パリ協定推進 米抜きで

「ボローニャ（イタリア北部）＝原亮彦】主要7カ国（G7）環境相会議は12日、米国を除く6カ国が地球温暖化防止策の国際的な枠組み「パリ協定」の履行を推進すると盛り込んだ共同声明を採択し、閉幕した。米国については注意書きで、二酸化炭素（CO2）の排出削減に取り組むと記したと強調。批准してい

日本経済新聞 平成 29 年 6 月 13 日

## 株式会社 マルダイ様、当協議会にご寄付

エコアクション 21 地域事務局ぎふ 事務局長 小倉 竹治郎

今回、株式会社マルダイ様のご寄付について、5月18日エコアクション21中間審査の申込時に次のようなお話が、メールに寄せられたことが始まりです。

お世話になっております。本年度の中間審査の申込書です。ご確認ください。

さて、中間審査申し込みに係り地域事務局ぎふのHPを閲覧しておりましたら、10周年の記念の記事を掲載していただいたことを知りました。このたびは、いろいろとお世話になり本当にありがとうございました。

また、HPにて寄付のお願いを拝見しました。日頃の感謝の気持ちを込めまして小額ですが、寄付をさせていただきました。

今後の活動にお使いいただければ幸いです。

株式会社マルダイ様は、昨年、エコアクション21を10年継続されたことにより、一財)持続性推進機構から感謝状の授与がありました。私ども地域事務局ぎふは、10月4日にその感謝状と盾を持参し、従業員の皆様と記念写真を撮りました。その時の写真は、NPO岐阜環境カウンセラー協議会のホームページに現在も掲載しています。このホームページには、寄付のお願いも併せて載せていますので、上記の寄付の話となったものです。

私たち、NPO岐阜環境カウンセラー協議会にとって、このようなご寄付は、大変有難いものです。少し遅れましたが、この意を伝えるべく、NPO岐阜環境カウンセラー協議会理事長堀江孝男は、エコアクション21地域事務局長小倉竹治郎と共に6月16日お礼状を持参いたしました。この時社長の草野哲郎様とEA21環境管理責任者の草野由果様が同席されました。その席では、社長自らエコアクション21の10年継続とホームページへの掲載についてのお話や仕事に関するお話を理事長と楽しく歓談されました。写真は、社長と理事長がお互いの健闘を祈念しエールを交換した時のものです。

株式会社マルダイ様は、大野町において木くずの破砕及び産廃収集運搬をされており、優良産廃処理業者に認定されています。

私たちNPO岐阜環境カウンセラー協議会は、環境省の環境カウンセラー制度の趣旨にのっとり、市民・市民団体・事業者・行政等と共に環境保全活動を進めています。今後もこのようなご寄付を含め多くの皆様に活動をご支援いただけるよう頑張っていきますので、よろしくお願いします。



右：株式会社マルダイ  
代表取締役 草野 哲郎 様  
左：NPO岐阜環境カウンセラー協議会  
理事長 堀江 孝男



## 「第18回 環境市民フェスティバル(大垣市)出展」報告

岐阜環境カウンセラー協議会 理事 鈴木 敬彦

### ソフトピアジャパンセンタービル

これまでは、大垣城ホールで開催されてきましたが、今回はソフトピアジャパンセンタービルで、6月12日(土)に開催されました。3Fの展示会場から見た1Fの講演会場の風景で(写真右上)、多くの訪問客がありました。



### 岐阜環境カウンセラー協議会ブース

来場者は小学生以下のお子さんを中心にした親子が多く、これまではパネルの展示だけであったため、来場者のほとんどは素通り、出展の意義に疑問を感じてきましたが、今回は会員の則武様手作りのグッズを揃え、多くのお子様には様々な発電を体験していただきました。

また、今回は会員の小林由紀子様ブース「エネルギー・環境科学ネット」と隣り合わせに配置し、併せて集客を狙いました。

### 大人気の招き猫風船

人力で発電し、風船のお尻に取り付けられた小型ファンを回して空気を送り、膨らませると招き猫が「エネルギーを大切にしよう!」を手にして立ち上がります。

まず、当協議会理事長が招き猫風船を立ち上げ、ブースをオープンしました(写真右中央)。

その後小さなおお客様の訪問が絶えず、招き猫風船は人気者でした。5歳の女の子にとって、手で発電機を回して風船が膨らむには、大変な根気が必要で、疲れる作業であったにもかかわらず、一生懸命に回して(写真右下)、招き猫が立ち上がるとにっこり、発電の原理なんてどうでもいい、この達成感が大切だと、作成者則武様のアイデアに脱帽でした。



### クリーンな5種類の発電システム

人力、風力、ソーラー、ペルチェ素子、圧電素子といった5種類の発電方法が提供され、大人でもこんな方法で発電ができるのかと驚くような体験でした。

ペルチェ素子は板状の電子部品で、表面を冷却し裏面を温めてやると温度差で電流が流れ発電します。逆に電気を通すと表面の熱を裏面に移動して、表面は冷たくなり、裏面は熱くなります。

この素子を保冷材の上に置き、上から手のひらを充てて発電し、ミニモーターで風車が回転すると“オー”、逆に素子を掌に載せて手回し発電で電流を流すと“熱い!”、電流を逆に流すと“冷たい!”、多くのお子様の驚きの表情と声が続きました。



ヒートポンプのような大掛かりな設備を使わずに、この素子を用いた小型の除湿器や車用の保冷庫が市販されています。

### ゴキブリ君

ソーラーを背中に背負い、振動モーターで動くゴキブリ君も人気を集めました。そのほかにも光を当ててソーラーで動く様々な手作りグッズにお子さんもお母さんも真剣でした(写真右)。



### 「水環境読本」等の説明・配布

これまでは、お客様が素通りしてしまうため、計画していた環技センターが発行する「水環境読本」の説明・配布が思うようにできませんでした。今回は、お子様を連れてお父様、お母様に簡単な説明をして配布し、十数部準備したものが不足するほどでした。

また、環境省の「3Rまなびあいブック」も、簡単な説明を加えて配布することができました。

### 結び

小さなお子様が、エネルギー問題をはじめとした地球環境問題に関心を持つ入り口になり、環境問題への市民レベルでの取り組みが、より一層盛り上がることを期待したいと思います。

## 「大垣環境フェスティバルで使用したグッズに関するお話」

エコアクション 21 審査人 則竹昌幸

「何か書いて」と言われましたので、今回はまず、一番目立っていた「省エネ招き猫」君に元気を吹き込んでいた「手回し発電機」に関して、です。仕組みは、直流モーター＋減速機→メーター→シガーソケット→外部機器、で直流モーターは多分 300W 位、かつて電動バイクなんかに使われていたものです。減速機は“遊星ギアタイプ”で、これも多分 30:1 くらい(手回しの回転数で発電機がいいところで回るように)のギア比だと思えます。この遊星ギア減速機は、モーターとハンドルの軸を同一直線上にとれる特徴があります。他の減速機では、ハンドルでは回せないなどということもあるようです。そして、ぐるぐる回して発電し続けても疲れるだけなので、隣に電圧・電流計をつけています。余裕があれば、「今〇ワット発電中でございます。」とか、「テレビを 1 時間見るには〇〇時間の発電が必要なんだわ。」とかの会話をします。単位や数字を交えることが大事では、と思っています。その他、手回し発電機の外部機器としては、音楽再生用アンプ、回転灯、風船用エアーポンプなどもあります。

ここからは余談で、気がつかれた方もおられたと思いますが、手回しハンドルの棒に「創作機械工房 Piccolo SPA」とメーカー名が記載されています。10 年くらい前にこちらから購入しました。当時はこぢんまりと人力発電グッズを中心に、それまで見たことも無かった“くだらないけど、思わず笑ってしまう”品々がホームページに載っていて、かつての私は、なぜか強く感銘を受け、今の路線に入り込んだのでした。その後、かなり大規模な会社になられたようで、テレビを見ていると時々、“人力発電 100 台でメリーゴーラウンドが動くか? ”、とかのチャレンジ企画は、ほとんど Piccolo SPA さんの技術と機材で行われています。これから、人力発電遊園地なんかを企画される方がみえましたら、協力させて頂きますので、一言私の方に声をかけて下さい。

今後、協議会がますます発展し、ひょっとして潤いのある活動ができるかもしれませんので、同様のイベントや環境学習教室等では、協力させて頂く所存です。皆様よろしく申し上げます。

「のりたけ環境サポート」でホームページを検索してみてください。





頂いた感謝状(間伐材で作ってあるそうです。)

「一度度だったことから訴えた。」(浜崎陽介)

## 環境保全 県が表彰

功労2団体36人

県の本年度環境保全関係功労者表彰の受賞者が決まった。写真。二団体と二十六人。「世界環境デー」の五日、大村秀章知事が県庁で県内産間伐材でできた表彰状を贈った。

このうち、環境保全活動功労は、NEXPO(長久手・万博継承会)と長久手市と、にしお環境市民塾(西尾市)の二団体が受賞した。NEXPOはメンバー約三十人で地元の水質や生物調

査、外来種の駆除などを実施している。にしお環境市民塾は、西尾市との協働による啓発活動や、里山保全活動などを行っている。

◇表彰された他の皆さん

環境保全推進功労 北田敏広(豊橋市) 谷村篤(静岡県伊東市) 那須民江(名古屋千種区) 秀島栄三(同市中区) 石川由弘(半田市) 伊藤光宏(名古屋市中区) 大須賀哲夫(豊橋市) 佐藤正光(稲沢市) 内藤真佐美(豊川市) 則竹昌幸(一宮市) 浜島鐘利(大府市) 平野誠造(一宮市) 望月晴夫(江南市) 山田田乃(新城市) 若井宗臣(犬山市) 加藤信行(豊田市) 松浦晴道(小牧市) 井指誠(豊根村) 伊藤公子(新城市) 笠松信子(刈谷市) 神谷有実(豊橋市) 河合正充(新城市) 佐々木宏次(設楽町) 鈴木かつ代(西尾市) 永井浩一(豊田市) 長瀬三枝(岩倉市) 原田学(東栄町) 松浦太一(名古屋市中区) 森部豊(安城市) 環境保全行政従事功労 小沢真二(豊川市) 加藤繁男(東郷町) 山田充也(豊橋市) 環境衛生事業功労 青山公美(春日井市) 浅野政司(瀬戸市) 金田英和(名古屋千種区) 鎌田務(東浦町)

2017年6月7日(水)中日新聞朝刊



## 新規入会会員の紹介

平成 28 年 4 月から、新規にご入会いただいたお二人を紹介します。

### ● 則竹昌幸(のりたけ まさゆき)

環境カウンセラー：事業者部門

入会の動機：定年退職を機に、新たな活動の場のひとつにしようと思いました。

住所：愛知県一宮市

出身地：兵庫県西宮市

元勤務：海部地区環境事務組合

(ごみ・し尿を処理する一部事務組合)

(平成 29 年 3 月 31 日付けで定年退職)

(経歴)在職中は、公害調査・環境対策や住民対話、最後は、し尿処理場所長を務め、その他、環境学習教室の企画運営、エコアクション21認証登録、地域協議会運営なども行いました。個人的には、地球温暖化防止イベント、科学の祭典への出展、エコアクション21審査人活動及び市の環境関連委員会の委員を務めたりしています。



### ● 松永 幹生(まつなが みきお)

環境カウンセラー：事業部門

入会の動機：審査人としての力量向上並びに所属する部会や協議会の活動を通して皆様方との交流ができればと考えています。

住 所：岐阜県海津市南濃町境

生まれも、育ちも岐阜県の最南端の南濃町です。

近くには国営木曾 三川公園があり、高さ 65mの展望タワーに上ると、濃尾平野が一望できます。

勤務先：一般財団法人 東海技術センター (TTC)

#### 【主な業務経歴】

- 水質、大気質、騒音、振動、悪臭、労働衛生環境等の調査、測定分析
- 環境計量管理業務 (大気質、悪臭、騒音、振動)  
大気質 (排ガス、環境大気、悪臭)、  
騒音・振動 (工場、建設工事、鉄道、道路等)  
焼却施設、破碎施設等の建設後の性能評価関連測定業務、環境アセスメント関連調査業務、  
土壌汚染調査業務
- 指定性能評価機関事業 (国土交通省認定の建材試験) に係る試験業務管理
- 所属事業所の ISO9001,ISO14001 の立ち上げ及び運用管理業務
- JAB 環境審査登録機関 (TTC-ISO) の業務管理及び審査業務 (CEAR 環境審査員)
- 大気常時監視測定局保守管理業務 (環境大気常時監視技術者(主任) )
- 日本技術士会会員



・特定非営利活動法人  
岐阜環境カウンセラー協議会  
住所：〒500-8357 岐阜市六条大溝 4-12-6  
(一財)岐阜県環境管理技術センター内3F  
電話：058 - 272 - 0408  
FAX：058 - 272 - 0408  
E-mail：[gifu-ec@nifty.com](mailto:gifu-ec@nifty.com)  
URL：<http://www.gifu-ec.jp>  
窓口担当者：鈴木 敬彦 事務局長

・エコアクション 21 地域事務局ぎふ  
住所：〒500-8357 岐阜市六条大溝 4-12-6  
(一財)環境管理技術センター内 3F  
電話：058 - 272 - 0408  
FAX：058 - 272 - 0408  
E-mail：[エコアクション 21gifu@nifty.com](mailto:エコアクション21gifu@nifty.com)  
URL：<http://www.gifu-ec.jp>  
窓口担当者：小倉 竹治郎 事務局長  
加藤 邦夫 事務局次長